

北上市総合計画 2021～2030 令和5年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和4年度）

基本方針	1.未来に輝く人づくり
基本施策	1-1.結婚・出産・子育ての希望を叶える
関連するプロジェクト	1.子育て寄り添いプロジェクト

子育て世代に選ばれるまちづくりを進めるため、結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目ないライフサポートの充実と、乳幼児期の子どもの成長に寄り添う子育て支援の充実を図ります。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価	A
------	----------

R5事後	1
------	----------

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針	成果指標	達成状況(対象：R4) (上段：指標に基づくもの 下段：指標以外のもの)	達成状況 評価	達成状況分析(上段：指標に基づくもの 下段：指標以外のもの)		今後の方向性 (◇：R5に着手予定・着手済み ◆：R6以降の着手を検討)	
							内部要因	外部要因		
1	福祉部/健康こども部	●	子育て世帯の経済的負担の軽減	医療費助成について、拡大の効果を検証するとともに、必要に応じて支援のあり方について検討していく。 保育料や副食費の軽減については、低所得世帯及び多子世帯に対し国の制度より一部拡充しており、現状の軽減基準を維持する。また、新たに多子世帯へ給付金を支給するほか、出産や育児へのサポートを充実させ、子育て家庭への経済的負担の軽減を図っていく。	① 子育て環境の充実度(市民意識調査)は、前回調査からポイントが上昇し、期待値も上回っている。	A (A)	継続的な経済的負担軽減策が効果を上げている。	・給付金の支給及び保育料や副食費の軽減により、子育て世帯への経済的負担軽減が図られた。 ・給付金の支給により、子育て世帯への経済的負担軽減が図られた。 ・医療費の一部を負担することで、子育て世帯への経済的負担軽減が図られた。	◇多子世帯給付金を継続して支給する。 ◇令和5年8月診療分から、高校生等の現物給付を開始する。 ◇令和5年12月診療分から、小学生から高校生等までの認定に係る所得制限を撤廃し、18歳までの全ての子どもを医療費助成の対象者とする。 ◇継続して福祉医療費給付制度を実施していくとともに、国に対して全国一律の制度創設を求めていく。	
2	健康こども部	●	子どもを希望する夫婦の経済的負担の軽減	不妊治療により妊娠・出産が叶った例が10%を超えており、経済的な理由により、子どもを希望する夫婦が妊娠をあきらめず治療を継続できるよう、引き続き、特定及び一般不妊治療費の一部助成により経済的負担の軽減を行う。	①② 妊娠届者のうち、不妊治療をした人の割合は増加しており、期待値を上回っている。	A (B)	当該割合の増加を維持していくためには息の長い取り組みが必要である。	産婦人科医療機関へチラシを配布し、周知しているため、申請件数は低下しているが有効に作用している	不妊治療費の保険適用が検討されたことにより報道機会が増え、市民の不妊治療に関する認知度が高まった。	◇R5.4～高額療養費等の給付を考慮し、治療終了後5か月末と申請期限を延長。
3	健康こども部	●	産後ケア事業の充実	妊娠前から子育て期にわたり、母親及びその子どもに対し個別にケアや指導を行い、身体的な回復や心理的な安定につながるよう、民間団体が運営する産後ケアセンターでのデイサービス型及び家庭を訪問して行う訪問型産後ケア事業を実施する。また、子育て世代包括支援センターと関係機関が連携し、切れ目ない支援を行う。	①③ ④⑤ 産後退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができた人の割合は低下したが期待値を上回っている。この地域で今後も子育てをしていきたいと思う人の割合は増加傾向で期待値を上回っている。ゆったりとした気分で子供と過ごせる時間があった人の割合は低下傾向で、期待値も下回っている。	A (A)	・産後ケア事業の周知をあらゆる機会を通じて行い、利用者が増加している。 ・子育て世代包括支援センターとしても保健師や助産師が訪問相談支援を行っている。	情報交換会を年3回設定することで、支援が必要な人へ継続して支援を行っている。	◇継続して事業を実施	
4	健康こども部	●	産前・産後サポート事業の充実	妊娠前から出産後において、安心して育児に臨めるよう育児講座や母親同士の情報共有の場をつくる。また、関係機関と連携して、利用者ニーズの把握と事業効果の検証をしつつ、支援の場を充実させていく。	① 調査回答者の中の18・19歳～50歳代で子育て環境は充実していて安心して育児ができると思うと回答した率は増加傾向であり、期待値を上回っている。	A (B)	関係機関と連携し、事業の充実に努めた。	コロナ感染症の拡大等の状況に配慮しつつ、相談の機会を減らさないような対応を行った。	◇継続して事業を実施	
5	健康こども部	●	保育所等利用定員数の適正化と保育人材の確保	出生数や子育て世帯の転出入の推移など、社会情勢を注視しながら、利用児童数の推移を的確に見込み、公立保育所等の利用定員を調整することで適正化を図る。また、保育士の定着に向け、引き続き奨学金返還金への助成等を行っていく。	①⑥ 令和4年度当初の待機児童が0人となった。	A (A)	認可外から小規模保育事業所への移行、小規模保育事業所から保育所へ移行、私立幼稚園の認定こども園化により保育の受け皿も拡大した。出生数の減少により保育申込者数が減少した。	保育士等への就職支援助成事業等により、雇用の確保の一助になっている。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学生対象にこれまで実施してきたPR事業が実施できなかった。	◇認定こども園等を整備する事業者に対して費用の一部を補助する。 ・R5若手保健医療大学附属認定こども園整備事業費補助 ・北上保育園改善事業費補助 ◇保育人材確保事業を継続する。 ・保育士等就職支援助成金事業等
6	健康こども部		多様な保育ニーズへの対応	社会情勢の変化等を見極めながら、多様な保育ニーズに対応した各種保育事業を継続すると共に、拡充を図っていく。	①⑦ 一時預かり事業の実施施設が増加し6か所となり、乳幼児を一時的に預かる受け皿が充足されている。	A (A)	令和3年度から保健・子育て支援複合施設ほKko内に設置している一般型の一時的保育室について、周知の結果もあり利用者が大幅に増加し、十分に活用されている。	小規模保育事業所による一般型の一時的保育室が開所したほか、余裕活用型も4か所となり、利用者が増加した。	◇一時預かり事業、延長保育、病後児保育事業等を継続し、多様な保育ニーズに対応していく。	
7	健康こども部		学童保育所の環境整備	老朽化した学童保育所の計画的な整備と指定管理制度の対象施設の拡大を進める。	①⑧ 学童保育所の計画的な整備と指定管理者制度の対象数の拡大を図り、期待値どおり整備している。	A (A)	・整備状況について、目標値に対し順調に進められている。 ・指定管理者制度への移行についても、対応可能なところから順次移行できている。 ・和式トイレの洋式化を推進し、児童が利用しやすい環境を整備している。	・年2回、市の共催で研修会を行い、職員の資質向上に努め、受入れ体制を整えている。 ・低所得者やひとり親家庭に対する利用者負担の軽減を図り、経済的な面でも利用しやすい環境を整備している。	◇学童保育所の計画的な整備及び指定管理者制度への移行を継続して進める。 ◇R5～ 黒沢尻東学童保育所の建替え ◆北上南学童保育所、鬼柳学童保育所について建て替え、指定管理者制度への移行をめざす	

凡例 ● 実績値 — 期待値

指標	指標の説明	実績値							期待値
指標	指標の説明	実績値							期待値
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
北上市市民意識調査 子育て環境の充実度 (子育て環境は充実して いて安心して育児が できると思う率)	全回答者(無回答者を除く)のうち「そ う思う」「ややそう思う」「普通」と回答し た者の割合								
福祉部/健康こ ども部	%	実績値	64.1	68.1		69.1			
		期待値	64.1	64.3	64.4	64.6	64.7	64.9	65.0
		備考			未実施				
妊娠届数の内、不妊治 療により妊娠した妊娠 届出数の割合	妊娠届のアンケートから不妊治療 を行った者の割合。								
健康こども部	%	実績値	5.30	8.9	8.5	11.3			
		期待値	5.3	6.0833	6.8667	7.65	8.4333	9.2167	10
		備考							
産後退院してからの1 か月程度、助産師や保 健師等からの指導・ケア は十分に受けることが できた人の割合(産後4 か月頃)	4か月児健康診査を受診した保護 者の回答に占める「はい」の割合								
健康こども部	%	実績値	77.1	84.3	85.3	81.6			
		期待値	77.1	77.9	78.7	79.6	80.4	81.2	82
		備考	H30						R5
この地域で今後も子育 てをしていきたいと思 う人の割合(産後4か 月頃)	4か月児健康診査を受診した保護 者の回答に占める「そう思う」の割 合								
健康こども部	%	実績値	54.9	62	60.8	61.4			
		期待値	54.9	55.8	56.6	57.5	58.3	59.2	60
		備考	H30						R5
ゆったりとした気分 で子供と過ごせる時 間があった人の割合 (産後4か月頃)	4か月児健康診査を受診した保護 者の回答に占める「はい」の割合								
健康こども部	%	実績値	85.7	87.5	89	87.7			
		期待値	85.7	86.4	87.1	87.9	88.6	89.3	90
		備考	H30						R5
年度当初の待機児童 数	保育の必要性の認定を受け、保育 所等の利用の申込みをしているが、 利用できていない児童数。								
健康こども部	人	実績値	13	1	0	0			
		期待値	13	10.8	8.7	6.5	4.3	2.2	0
		備考							
一時保育事業実施施 設	保護者の疾病やリフレッシュのた め、家庭において保育を受けるこ とが一時的に困難となった乳幼児 について年齢制限なしで一時的に 預かる事業所の数。								
健康こども部	箇所	実績値	1	2	6	8			
		期待値	1.0	1.2	1.3	1.5	1.7	1.8	2
		備考							
子ども・子育て支援 事業計画に基づく学 童保育所の施設整 備数	老朽化が著しい施設や基準を満た していない施設等の整備を行った 施設数								
健康こども部	箇所	実績値	3	3	4	6			
		期待値	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6
		備考							